CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 2014年版

(仮称)日本通運(株)広島支店　事務所ビル新築工事

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配　慮　項　目	評価点	重み係数	内　訳								
■1.「地球温暖化対策」の推進											
1.1　建物の熱負荷抑制											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください 床・外壁・屋根に断熱材を設け、庇で日射を遮蔽し、LOW-eの複層ガラスを採用	5.0	0.59	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	2	外皮性能	
	0.0	0.00									
	4.0	0.41	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制					
小計	4.6	0.07									
1.2　自然エネルギーの利用											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください 太陽光パネルを設置 自然採光・自然通風の可能な窓を設置	3.0	1.00	LR1	エネルギー	2	自然ｴﾈﾙｷﾞｰ利用					
小計	3.0	0.06									
1.3　設備システムの高効率化											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。□ BEIm＝0.76	4.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化					
小計	4.0	0.28									
1.4　設備システムの効率的運用											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング			
建物で消費される各種エネルギー消費量を年間に渡って把握できるシステムを構築	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制			
小計	3.0	0.11									
1.5　資源・マテリアル対策											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。□ ホルムアルデヒド等の有害とみなされる材料は避け、規制対象内の材料(JIS・JASのF☆☆☆☆)や自然の材料(石)を選択し、機械換気設備(24時間)を設けてます。(シックハウス対応) 　グリーン購入法における特定調達品目やエコマークを取得した商品や再資源化された材料(再生クラッシャラン等)を使用します。。 節水型便器や自動水洗の採用。	4.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水			
	3.0	0.11	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無	
	3.0	0.05	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利システム導入の有無	
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減			
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用			
	3.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			
	5.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材			
	4.0	0.15	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			
小計	3.6	0.34									
1.6　ライフサイクルCO2排出率											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください ライフサイクルCO2排出率0.82%	3.7	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮					
小計	3.7	0.14									
1.「地球温暖化対策」の推進の評価	**3.7**	**0.72**									
■2.「ヒートアイランド対策」の推進											
2.1　温熱環境の向上											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。 条例の緑化計画で必要な緑化面積に対して6倍の緑化施設を確保しています。	3.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出					
	4.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上			
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善			
小計	3.0	0.97									
2.2　交通負荷抑制											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車台数は条例で必要な設置台数の1.5倍確保。 駐車場の出入口を2か所設置し、広島球場の野球の開催日は西側だけの出入りとして球場観覧者の動線と分離します。	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制	
小計	5.0	0.03									
2.「ﾋｰﾄｱｲﾗﾝﾄﾞ対策」の推進の評価	**3.0**	**0.19**									
■3.「長寿命化対策」の推進											
3.1　耐用性の向上											
(コメント)　※配慮事項を簡潔に記載してください。 施設の変動に追従出来る様に、間仕切り壁は乾式工法とし融通性のある建物としています。 耐用年数の長い金属パネルや御影石を外装に採用し、庇を設けて汚れを軽減してメンテナンスの少ない外装にしています。	3.0	0.18	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震	1	耐震性	
	3.0	0.27	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震	2	免震・制振性能	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数	
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	3.0	0.05	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	3.0	0.05	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔	
小計	3.4	0.58									
3.2　設備の更新性											
(コメント)　※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。 OAフロアーを採用し隣接してEPSを設けて将来の電気機器類の更新・設置の対応します。 適正な場所に配管スペース等を設け建築寿命より短い設備機器や配管材料の更新に対応出来る計画としています。	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性	
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給排水管の更新性	
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性	
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性	
	4.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性	
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペースの確保	
小計	3.2	0.42									
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)	**3.3**	**0.09**									
■重点項目の総平均(上記3項目)	**3.5**										